

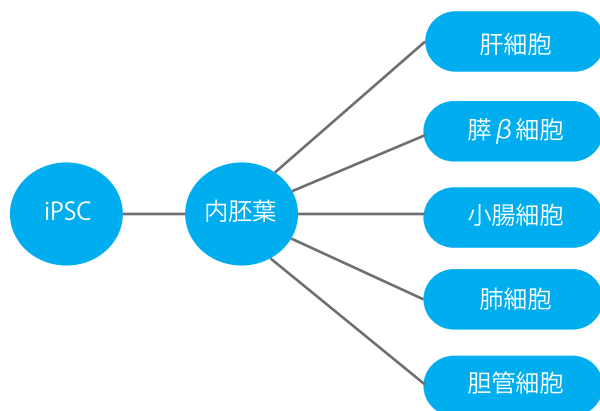
スペシャリティサービス

DefiniGENでは、自社のノウハウと所有および提携するライセンスを活かし、創薬スクリーニングや再生医療にかかわる多くの企業様とのコラボレーションを実施しています。再現性の高いiPS分化誘導技術を有するDefiniGENの技術を活かし、貴社技術開発の加速化に貢献します。



● 主なアプリケーション適用先:

- 分化誘導自動化装置開発企業
- 3次元プラットフォーム開発企業
- 細胞観察ツール開発企業
- iPS由来膵島移植研究者
- 新規腸管吸収モデル開発研究者



<多様な疾患モデル開発事例>

Genetic cholestasis
(PFIC and Alagille syndrome)
Wilson's disease
Hereditary hemochromatosis
Tyrosinemia type 1
Alpha-1 antitrypsin deficiency
Argininosuccinic aciduria (ASL)
Glycogen storage disease (GSD)
Crigler-Najjar syndrome
Primary hyperoxaluria type 1
Maple syrup urine disease (MSUD)
GSD type Ia (in metabolic control)
Familial hypercholesterolemia
Organic acidurias (except MSUD)
Cystic fibrosis
Gaucher disease
etc.

© DefiniGEN Ltd. 本カタログ中に掲載されている図表の無断転用を禁止致します。2017年8月作成

DefiniGEN

DefiniGEN Ltd. www.definigen.com

Babraham Research Campus
Cambridge CB22 3AT
United Kingdom

Email: info@definigen.com
Tel: +44 1223 497 106

日本国内代理店



KISHIDA

キシダ化学株式会社 www.kishida.co.jp

本社 〒540-0029 大阪市中央区本町橋3-1
TEL (06)6946-8061 (代) FAX (06)6946-1607

東京支店 〒135-0007 東京都江東区新大橋2-11-8
TEL (03)5625-5591 (代) FAX (03)5625-5592

つくば事業所 〒300-0326 茨城県稲敷郡阿見町大字星の里13-2
TEL (029)833-6011 (代) FAX (029)833-6012

DefiniGEN

カスタムサービス・ケーススタディ

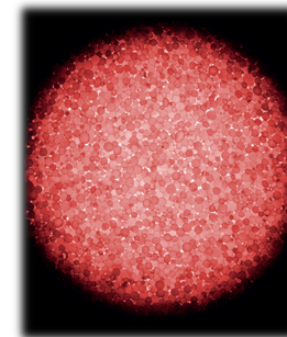
“iPS分化誘導*”と“ゲノム編集*”に関する2つの
 商業的ライセンスをクリアするDefiniGENは、
 多様なパターンにおけるカスタムサービスに
 柔軟に対応しております。

専任スタッフが、初期のコンサルティングから
 プロジェクト詳細の決定、中間報告、納品、最終報告
 までのプロセスの一括窓口となり対応いたします。



疾患モデル細胞作製

DefiniGENは独自の分化誘導プラットフォームである「OptiDIFF Platform」の技術を採用し、内胚葉系（肝臓、膵臓、肺、小腸、胆管等）への分化誘導を行います。新規の疾患モデルにおいては、培養条件の最適化をラボスケールで検討を行った後、納品向けの分化誘導および凍結保存を行います。

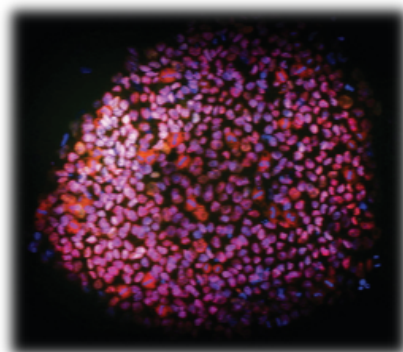


| | |
|-------------------------------------|----|
| 主なアプリケーション適用先 製薬企業・バイオ・CRO・アカデミア | |
| 期間 | 費用 |
| 約3ヶ月間 | ££ |

| | |
|------------|---|
| iPS初期化 | ✓ |
| ゲノム編集 | ✓ |
| 分化誘導（最適化） | ✓ |
| 分化誘導（スケール） | ✓ |
| 凍結保存 | ✓ |
| 品質保証・細胞納品 | ✓ |
| スクリーニング | |

疾患iPS細胞作製

DefiniGENは、ケンブリッジ大学病院をはじめ、世界の主要な疾患細胞バンクと連携しiPS初期化の元となる細胞にアクセスが可能です。これらの細胞からダイレクトに「疾患iPS細胞」を作製する方法と、健常細胞にゲノム編集（CRISPR/CAS法）を採用し「疾患iPS細胞」を作製する方法を併用することができます。

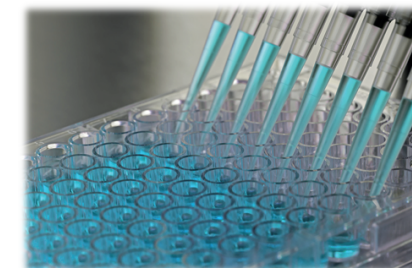


| | |
|-------------------------------------|----|
| 主なアプリケーション適用先 製薬企業・バイオ・CRO・アカデミア | |
| 期間 | 費用 |
| 約3ヶ月間 | £ |

| | |
|------------|---|
| iPS初期化 | ✓ |
| ゲノム編集 | ✓ |
| 分化誘導（最適化） | |
| 分化誘導（スケール） | |
| 凍結保存 | |
| 品質保証・細胞納品 | |
| スクリーニング | |

初期スクリーニング

分化誘導後の「iPS由来疾患モデル細胞」を細胞ツールとして、基本的なスクリーニング試験をDefiniGENにて実施することも可能です。製薬企業所有のコンパウンドを使用する場合は、必要な秘密保持契約を締結し、更にコンパウンドの情報をマスキングし、スクリーニング試験を実施します。



| | |
|-----------------------|-----|
| 主なアプリケーション適用先 製薬企業 | |
| 期間 | 費用 |
| 約3ヶ月間 | £££ |

| | |
|------------|---|
| iPS初期化 | ✓ |
| ゲノム編集 | ✓ |
| 分化誘導（最適化） | ✓ |
| 分化誘導（スケール） | ✓ |
| 凍結保存 | |
| 品質保証・細胞納品 | |
| スクリーニング | ✓ |